Ⅴ.自然と共に生きるまち

基本施策	課名	事業名	頁	備考
1.資源が循環する島をつくります	環境課	ごみ処理事務	365～	重複
	環境課	ごみ収集運搬事業	367～	
	環境課	リサイクルセンター管理運営事業	369～	
	環境課	一般廃棄物処理施設整備事業	371～	
	環境課	再生可能エネルギー事業	373～	重複
	環境課	木質ペレット製造施設管理運営事業	375～	
2.島の美しい自然環境を保全します	農林水産課	森林病害虫等防除事業	377～	
	農林水産課	松くい虫危険木処理事業	379～	
	環境課	環境保全対策事業	381～	
	環境課	自然環境保全事業	383～	
	環境課	ごみ処理事務	385～	（重複）

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ処理事務	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-6 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
①	一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
②	リサイクル率（廃棄物量に占める再資源化廃棄物の割合）（KPI）	6.5%
③	環境教育・学習会の開催回数（KPI）	10回/年
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

島根県内においても本町のごみ排出量は極めて多く、リサイクル率が低いという現状を改善するため、ごみの減量化・再資源化に寄与する取組みの推進を図る。また、大規模災害等による災害廃棄物の適正処理に努める。

【事業概要】

廃棄物減量等推進審議会の開催、一般廃棄物処理実施計画の策定、一般処理廃棄物基本計画の中間見直し、ごみの分け方出し方ガイドブック・分別収集カレンダーの配布など、ごみの排出抑制及び再資源化促進に向けた取組、啓発活動等を行う。ごみの減量化・再資源化のため、生ごみ処理機補助金交付事業を実施する。また、災害発生時の適確な廃棄物処理に向けた計画策定等も併せて実施する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

【拠点回収設備整備事業】

○五箇地区　布施地区（2基設置）

・業務委託料　3,168千円

【自動車リサイクル法離島支援事業】

・補助金額　4,745千円

・海上輸送予定台数　526台

・海上輸送実績台数　346台

実績額		7,913 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	4,745 千円
	一般財源	3,168 千円

実績値				
	①	769g/人日	④	
	②	9.1%	⑤	
	③	12回/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

ごみの排出抑制・再資源化推進を目的として、令和5年度より指定袋導入や自己搬入料金の改定などの制度改正を行い、ごみの分け方出し方ガイドブックの作成及び全戸配布、古紙回収に係る拠点回収設備整備等を実施した。環境学習の面では、施設見学や個別学習会を実施した。海上輸送費補助金事業では、自動車リサイクル要綱改正により円滑に事務を行うことができた。

【②.事業の課題】

制度改正後、町民の意識の変化により、本町のごみの排出量は減少しリサイクル率も向上したが、更なるごみの減量化、リサイクル率の向上を目指す必要がある。また、近年頻発する大規模災害による廃棄物について、仮置場選定・設営、周知方法など迅速かつ円滑な対応ができるよう実施計画を策定する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本町のごみ排出量削減、再資源化を推進するため、積極的な啓発活動や制度改正に沿った分別収集の徹底などを行っていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和５年度評価済**

今回の指定ごみ袋制への移行を契機に、ごみ問題への関心や意識の高まりが、すべての町民に定着されるよう努めていただきたいと思います。

また、これまで以上に啓発活動を行い、廃棄物削減、リサイクル率の向上に向けた、個々の意識づけをする必要があります。本年度から実施した拠点回収施設の設置や、ごみの分け方、出し方のガイドブックは効果を上げています。来年度以降に実施予定の生ごみ処理機導入補助金の効果にも期待しています。

4.改善・見直し（Action）

隠岐の島町ごみ減量化アクションプラン（令和3年3月策定）に基づき、ごみ減量化の推進に取り組む。引き続き、広報誌や出前講座等の学習会による、ごみの分け方・出し方の周知啓発活動の実施に加え、資源の再利用を推進するため、拠点回収設備の計画的な整備、生ごみ処理機導入補助金交付事業を実施する。

また、令和6年度は第2次隠岐の島町一般処理廃棄物処理基本計画(平成31年4月策定)の中間見直しが必要となるためこれまでの状況を整理し、今後の廃棄物処理施策の方向性を定める。

大規模災害等への備えとして、災害廃棄物処理計画（令和3年3月策定）を策定しているが、より迅速かつ円滑な対応が可能となるよう災害廃棄物処理実行計画の策定等、事前準備を進めていく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ処理事務	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-6 （重複）

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容	拠点回収設備整備　1箇所	拠点回収設備整備　1箇所			
	1,881 千円	1,881 千円	千円	千円	千円
	使用済自動車等海上輸送費補助金	使用済自動車等海上輸送費補助金	使用済自動車等海上輸送費補助金	使用済自動車等海上輸送費補助金	使用済自動車等海上輸送費補助金
	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円
	（新）生ごみ処理機導入補助金	生ごみ処理機導入補助金	生ごみ処理機導入補助金	生ごみ処理機導入補助金	生ごみ処理機導入補助金
	1,175 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
(Plan)	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	10,122 千円	9,947 千円	8,066 千円	8,066 千円	8,066 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円
財源内訳 一般財源	3,056 千円	2,881 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
目標値 ①	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日
目標値 ②	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%
目標値 ③	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ収集運搬事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
①	一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町内の家庭から排出される一般廃棄物を収集し、清掃センター及びリサイクルセンターへ適正に運搬する。

【事業概要】

一般廃棄物収集運搬業務を民間事業者に委託し、計画的・効率的な収集業務を実施する。また、収集業務に支障のないよう、経年劣化・不具合が生じる収集運搬車を計画的に更新する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

○古紙搬出及び保管業務委託
8,599千円
○可燃ごみ収集運搬及びごみ受入設備管理業務委託
77,000千円

実績額		85,599 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	85,599 千円

実績値				
	①	769ｇ/人日	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

ごみ収集日程表をもとに、可燃・不燃・資源・粗大ごみの計画的・効率的な収集業務を行った。

【②.事業の課題】

リサイクルセンター可燃物運搬車、清掃センター軽ダンプに腐食などの経年劣化が見られ更新を検討する必要がある。また、現在のダンプでは車幅が大きく路地に入りにくいため、古紙収集車購入を検討する。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

委託事業者とは定期的に連絡会を開催し、意見交換をしながら廃棄物処理におけるサービスの向上を図る。また、収集業務に使用する車輌についても管理を委託するため、経年劣化等の状況等について把握・報告を受けることにより、更新計画を作成していく。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

受託者と定期的に調整・協議し、分別収集の効率化及び住民サービスの向上を図るとともに、経年劣化・不具合が生じる収集運搬車を計画的に更新することで、安全・安心なごみ収集運搬業務を実施する。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ収集運搬事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-7

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容 (Plan)	古紙収集車購入費（3ｔ）	清掃センター軽ダンプ購入費	リサイクルセンター可燃物運搬車購入費（4ｔ）		
	7,033 千円	1,814 千円	11,272 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	7,033 千円	1,814 千円	11,272 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	7,000 千円	1,800 千円	11,200 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	33 千円	14 千円	72 千円	千円	千円
目標値 ①	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	リサイクルセンター管理運営事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	2

指標		令和6年度目標値
①	リサイクル率（廃棄物量に占める再資源化廃棄物の割合）（KPI）	6.50%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内で発生した不燃ごみ・資源ごみをリサイクルセンターで適正に処理することで、ごみの減量化・再資源化を図る。
また、最終処分場からの浸出水及び汚水を放流水排水基準を遵守するため、浸出液処理施設で適正処理し、環境保全及び公害防止に努める。

【事業概要】

リサイクルセンターの各設備を計画的に整備することで、不燃ごみ及び資源ごみの適正処理を行う。
浸出液処理施設の各設備を計画的に整備し、浸出水及び汚水の適正処理を行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

○リサイクルセンター管理運営事業
1）島後リサイクルセンター定期整備工事
　7,700千円
2）島後リサイクルセンター機器更新工事
　48,950千円
3）島後リサイクルセンタートイレ洋式化工事
　1,662千円
4）島後リサイクルセンターエアコン取替工事
　1,262千円
5）浸出液処理施設定期整備工事
　1,144千円
6）浸出液処理施設機器更新工事
　4,290千円

実績額		65,008 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	54,800 千円
	特定	千円
	一般財源	10,208 千円

実績値				
	①	9.1%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

老朽化した設備を計画的に整備していくことで不燃ごみ、資源ごみの適正処理、また最終処分場からの浸出水及び汚水について安全かつ衛生的に処理を行った。

【②.事業の課題】

老朽化した機器の整備を計画的かつ効率的に実施することが必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

引き続き不燃ごみ・資源ごみの適正処理、また最終処分場からの浸出水及び汚水を安全かつ衛生的に処理するため、計画的に定期整備・機器更新を実施する。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

各プラントメーカーと老朽化した機器の状況把握、優先順位を明確にし計画的に定期整備・機器更新を行う。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	リサイクルセンター管理運営事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-8

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容 (Plan)	リサイクルセンター定期整備工事（計装機器更新、中央操作盤、データロガー更新） 10,000 千円 リサイクルセンター機器更新工事（破砕設備、選別整備、再生設備、集塵設備等機器更新） 51,150 千円 浸出液処理施設定期整備工事（電気計装設備補修） 1,320 千円 浸出液処理施設機器更新工事（前処理設備、凝集沈殿処理設備、高度処理設備等機器更新） 4,400 千円 リサイクルセンタートイレ洋式化工事（N=3基） 2,651 千円 千円 千円 千円	リサイクルセンター定期整備工事（受入設備、破砕設備、選別設備、集塵設備更新、その他設備） 28,488 千円 リサイクルセンター機器更新工事（選別設備、再生設備、その他設備機器更新） 38,445 千円 浸出液処理施設定期整備工事（電気計装設備補修） 1,430 千円 浸出液処理施設機器更新工事（高度処理設備改修） 7,506 千円 千円 千円 千円 千円	リサイクルセンター定期整備工事（選別設備、計装設備更新） 7,414 千円 リサイクルセンター機器更新工事（受入供給設備、破砕設備、選別設備、再生設備等機器更新） 59,070 千円 浸出液処理施設定期整備工事（電気計装設備補修） 1,430 千円 浸出液処理施設機器更新工事（前処理設備、凝集沈殿処理設備、高度処理設備等機器、減菌処理･放流設備等更新） 4,840 千円 千円 千円 千円 千円	リサイクルセンター定期整備工事（搬送設備、選別設備、その他機器） 10,538 千円 リサイクルセンター機器更新工事（受入供給設備、破砕設備、選別設備、再生設備、集塵設備等機器更新） 50,798 千円 浸出液処理施設定期整備工事（電気計装設備補修） 1,430 千円 浸出液処理施設機器更新工事（前処理設備、高度処理設備等機器、減菌処理･放流設備等更新） 4,565 千円 千円 千円 千円 千円	リサイクルセンター定期整備工事（搬送設備、選別設備、集塵設備、その他機器） 18,513 千円 リサイクルセンター機器更新工事（受入供給設備、破砕設備、選別設備、再生設備、搬送設備等機器更新） 42,273 千円 浸出液処理施設定期整備工事（電気計装設備補修） 1,430 千円 浸出液処理施設機器更新工事（前処理設備、高度処理設備等機器、その他付帯設備等更新） 4,918 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	69,521 千円	75,869 千円	72,754 千円	67,331 千円	67,134 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　58,100 千円 特　定　千円 一般財源　11,421 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　45,900 千円 特　定　千円 一般財源　29,969 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　63,800 千円 特　定　千円 一般財源　8,954 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　55,200 千円 特　定　千円 一般財源　12,131 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　47,100 千円 特　定　千円 一般財源　20,034 千円
目標値	①　6.50%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　6.50%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　6.50%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　6.50%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　6.50%　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	一般廃棄物処理施設整備事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち						
基本施策	1.資源が循環する島をつくります						
重点施策							
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画						
予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
	① 一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

【事業目的】

本町が運営管理する一般廃棄物処理施設について町民の生活環境の保全及び循環型社会形成を図るための施設整備方針を定め、一般廃棄物の適正処理を推進する。

【事業概要】

次期最終処分場の整備に向けて施設整備方針の策定及び事業スケジュールを決定する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

○一般廃棄物処理施設整備事業
隠岐の島町次期一般廃棄物最終処分場適地選定等業務
4,180千円

実績額		4,180 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	4,180 千円

実績値				
	①	769g/人日	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

最終処分場適地選定業務において、埋立排出量・地形等のデータにより、基本となる条件の整理を行いながら、適地の抽出を行った。

【②.事業の課題】

既存の最終処分場について、平成14年3月の竣工から21年が経過しており、直近の平均埋め立て量から算定すれば、今後約7年程度で飽和状態に達すると予測されている。この要因は、海岸漂着ごみや災害の発生に伴う廃棄物の増加等に起因すると考えられる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

選定された候補地について、地域・地権者に丁寧に説明を行い、事業に対する合意形成を図る必要がある。あわせて、事業の基本となる施設整備方針及び事業スケジュールの協議を進めていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

一般廃棄物の適正な処理のための施設整備であり、必要な事業です。今後も事業スキームをしっかり検討し、実施して下さい。

廃棄物の処理については、予算的にも現実的な方向性で計画が進められていると考えます。また、新しい試みによるごみの減量化にも期待します。しかしその一方で、ごみ処理料金の値上げによる不法投棄の発生が懸念されますが、町民の理解が得られ、行動変容を促すような仕組みづくりが求められるのではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

次期最終処分場適地選定業務により決定される適切な施設規模・建設用地・概算事業費を基に、既設最終処分場の残余容量を考慮した事業スケジュールを検討する。

また、既設最終処分場に搬入される廃棄物の分別を徹底し、可能な限り可燃物の焼却処理を行うことで埋め立て量の縮減を図る。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	一般廃棄物処理施設整備事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-5

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容 (Plan)	次期最終処分場適地選定業務 1,100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	最終処分場基本計画及び基本設計業務 61,000 千円 生活環境影響調査 30,400 千円 最終処分場調査設計業務 基準点・地形・河川調査・横断測量 25,000 千円 地質調査業務（解析含まず） 29,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	最終処分場実施設計業務 44,000 千円 生活環境影響調査 14,500 千円 最終処分場調査設計業務 用地測量 37,000 千円 搬入路詳細設計・調査業務 21,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	最終処分場実施設計業務 22,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	1,100 千円	145,400 千円	116,500 千円	22,000 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	48,400 千円	38,800 千円	7,300 千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	97,000 千円	77,700 千円	14,700 千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,100 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	再生可能エネルギー事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-10 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	再生可能エネルギー事業
関連計画	隠岐の島町地球温暖化対策実行計画・バイオマス産業都市構想・緑のコンビナート構想
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	木質ペレットの製造量（KPI）	1,800t/年
②	再生可能エネルギー発電量（KPI）	4,500kw/年
③	地域資源を活かした産業創出（KPI）	3件
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

2050カーボンニュートラルに向け、町民・行政・事業者が一体となって、地球環境に強い危機感を持ち、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを全町的に推進する。

【事業概要】

・住宅用太陽光発電パネル設置、木質ペレット熱利用設備（ペレットストーブ）設置へ助成し、再生可能エネルギーの普及を図る。
・旧空港跡地に設置した大型太陽光発電施設の設置に伴う支援を行う。
・木質ペレット発電事業者に対し、経営状況が安定するまで補助金による支援を行う。
・民間企業と連携した公共施設への太陽光発電設備の導入等、脱炭素移行に伴う支援を行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

○補助実績
・太陽光パネル　1件　120千円
・蓄電池　4件　280千円
・ペレットストーブ 2件　696千円

実績額		1,096 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	708 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	388 千円

実績値				
	①	276ｔ/年	④	
	②	5,486kw/年	⑤	
	③	1件	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

再生可能エネルギーの助成事業の状況は、住宅用太陽光発電施設設置は72世帯、約346kw、木質ペレット熱利用設備導入の実績は15世帯、約9ｔである。
その他民間事業者により旧空港跡地大型太陽光発電（3,000kw）、南谷の小水力発電（150kw）、大峰山風力発電1機（1,990kw）が稼働中、今後、油井の小水力発電（150kw）、木質ペレット発電（150kw）が稼働予定である。

【②.事業の課題】

家庭用太陽光発電設備及び蓄電池の導入について、資材の輸送コスト等の影響で本土の自治体に比べ遅れている。（R1～4年度：導入実績なし）

【③.事業の必要性・今後の方向性】

国では「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指す」としており、本町でも令和5年度に脱炭素社会へ向けた取組を定めた地球温暖化対策実行計画を策定し、「隠岐の島町ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。今後は、策定計画を基に再生可能エネルギーの地産地消、自給自足を推進する。国の補助金を活用した各種事業を行う。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　　令和３年度評価済

世界規模で環境問題が深刻化する中で、木質ペレットによる再生可能エネルギーの取組は理解できます。しかし、木質ペレットの民間導入実績が9世帯、公共施設への設置も容易ではないなど、木質ペレットの普及が進まない状況では町民の理解は得られなくなってしまうと感じます。現在の事業内容で「木質ペレットの製造量」の目標は実現可能なのか、早急に事業内容を改善すべき必要があると考えます。

4.改善・見直し（Action）

今後は令和5年度に策定した隠岐の島町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を基に国の補助金を活用しながら取組んでいく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	再生可能エネルギー事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-10 （重複）

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 15,000 千円 レジリエンス事業補助金（清掃センター蓄電池） 5,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 30,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 29,800 千円 重点対策加速化事業補助金（隠岐病院蓄電池） 20,000 千円 重点対策加速化事業補助金（総合体育館蓄電池） 20,000 千円 重点対策加速化事業補助金（ペレットボイラー設計） 5,000 千円 重点対策加速化事業補助金（隠岐病院EV急速充電器） 10,000 千円 重点対策加速化事業補助金（総合体育館EV急速充電器） 10,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV公用車シェア） 1,849 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 24,000 千円 重点対策加速化事業補助金（役場本庁舎蓄電池） 5,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車購入補助） 13,690 千円 重点対策加速化事業補助金（役場本庁舎EV急速充電器） 10,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV公用車シェア） 1,849 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 23,000 千円 重点対策加速化事業補助金（リサイクルセンター蓄電池） 5,000 千円 重点対策加速化事業補助金（隠岐病院ペレットボイラー整備） 95,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車購入補助） 15,690 千円 重点対策加速化事業補助金（EV公用車シェア） 1,849 千円 千円 千円 千円
事業費	21,770 千円	31,770 千円	98,419 千円	56,309 千円	142,309 千円
財源内訳 国補助	3,333 千円	千円	41,648 千円	13,822 千円	72,755 千円
財源内訳 県補助	780 千円	780 千円	780 千円	780 千円	780 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	17,657 千円	30,990 千円	55,991 千円	41,707 千円	68,774 千円
目標値 ①	590t/年	1,230t/年	1,230t/年	1,230t/年	1,800t/年
目標値 ②	5,800kw/年	5,810kw/年	5,820kw/年	5,830kw/年	5,840kw/年
目標値 ③	1件/年	1件/年	1件/年	1件/年	1件/年
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	木質ペレット製造施設管理運営事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町森林整備計画・バイオマス産業都市構想・緑のコンビナート構想
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	木質ペレットの製造量（KPI）	1,800t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町バイオマス産業都市構想に基づき木質ペレットを製造し、将来、自主運営できるよう当面の間、製造販売等、管理運営を行う。
木質バイオマス1,800t/年を生産して循環型社会の振興による、地域活性化を図ることを目的とする。

【事業概要】

木質バイオマス利用推進センター（木質ペレット製造施設）の管理運営（木質ペレットの製造、販売、配送、施設管理）を行う。
施設建設当初は、少量であった木質ペレットの需要にあわせて、必要最小限で整備を行った。木質ペレット発電事業により木質ペレットの需要が増大することが見込まれ、随時生産の拡大に対応できるよう、必要備品等を整備する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

○施設整備等
- ユニック車 1台　7,988千円
- バックホー(中古1台)6,908千円
- アタッチメント 2種 4,565千円
- トラックスケール設置設計　3,469千円
- 下水道接続　2,288千円
- 制御盤改修　1,257千円

○設備部品等
- リングダイ　847千円
- プレスロール　1,042千円
- パレット(200枚)　1,034千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本町内ですでに整備されている木質ペレットボイラー、ストーブへの供給するために、製造、販売、販売管理、配送及び施設の管理運営を行っている。
良質な木質ペレットを需要に応じて適正量を効率的に製造している。

【②.事業の課題】

バイオマス産業都市構想の目標である木質バイオマス1,800t/年に向けて、民間事業者による木質ペレット発電事業を実施する予定としており、増産に伴う施設整備が必要である。
また、稼働時間に伴い設備部品の交換が必要であるため、目標値の製造を効率的に行うためには常時予備品が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

木質ペレット発電事業で使用する木質ペレットは、林地残材などの未利用材を原材料とするため、林業事業体の収益増加、里山保全が促進されるとともに防災減災が図られる為、木質ペレット発電事業開始に向け、最大1,800t/年を製造販売できるよう施設整備を行う。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　**令和６年度評価済**

カーボンニュートラルの実現に向けた先進的な取組を進めていることは評価できます。
しかし、ペレットの増量に資する発電事業については、未だ町民の認知度及び理解度が不十分のように思われます。事業内容において製造コストが高く、収支のバランスから事業の持続性、発展性には疑問が残ります。企業運営等の専門家によるアドバイスを受けるなど、収支計画の確実な実行を目指してください。また、森林環境譲与税の活用については、その目的に沿った適切な使途を図ってください。

4.改善・見直し（Action）

当初は公共施設や民間施設等に木質ペレットボイラーの導入を計画していたが、設備導入費用が想定していたものより高額であることから計画の見直しを行った。
今後は隠岐の島町地球温暖化対策実行計画に基づき、木質ペレット発電事業開始に向けて施設整備を行う。

実績額		
		29,398 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	15,300 千円
	特定	千円
	一般財源	14,098 千円

実績値				
	①	276ｔ/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	木質ペレット製造施設管理運営事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-11

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容 (Plan)	設備機器更新 2,635 千円	設備機器更新 9,735 千円	設備機器更新 6,737 千円	設備機器更新 7,678 千円	設備機器更新 11,137 千円
	千円	設備機器予備品 1,909 千円	設備機器予備品 2,029 千円	設備機器予備品 2,167 千円	設備機器予備品 2,029 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	2,635 千円	11,644 千円	8,766 千円	9,845 千円	13,166 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	9,700 千円	6,700 千円	7,600 千円	11,100 千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	2,635 千円	1,944 千円	2,066 千円	2,245 千円	2,066 千円
目標値 ①	590ｔ/年	1,230t/年	1,230t/年	1,230t/年	1,800ｔ/年
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	森林病害虫等防除事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町森林整備計画

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	被害木の減小	1,000本
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

松くい虫被害のまん延防止の為の防除事業を実施する事で、松林が有する公益的機能の維持を図るとともに、重要な観光資源でもある松林の保護を図る。

【事業概要】

観光資源でもある3地区（浄土ケ浦・白島海岸付近・ローソク岩付近）の松林において空中散布、住民の生活環境に直結する防風林においては樹幹注入、被害木となってしまったものについては伐倒駆除を実施し、区域の松林保全を図る。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

空中散布59.92ha
5,020千円
安全確認調査30個
684千円
自然環境調査1式
120千円
空中散布付帯業務1式
556千円
衛生伐　335㎥
8,360千円
樹幹注入　118本
2,427千円
松枯れ調査　3個所
297千円

実績額		17,464 千円
財源内訳	国補助	10,920 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	684 千円
	一般財源	5,860 千円

実績値				
	①	1,367本	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

松くい虫被害状況は、本事業を実施した箇所と未実施の箇所とを比較すれば、被害発生状況は明らかに異なることが確認されている。防除事業を実施したことで、風光明媚な景観による観光資源や防風林としての機能等、松林の持つ公益的機能の維持を図ることができた。

【②.事業の課題】

空中散布は農薬を散布する為、国や県の散布マニュアルにより基準を設けて実施することとし、住民の安全確保に努める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

事業実施区域の松林を守っていくためには、引き続き防除、駆除事業をセットで実施することで十分な効果が期待できると考えている。しかし、散布事業については県内で唯一の実施箇所となっており、安全面も含めて今後の保全方法について十分検討する必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　令和３年度評価済

松林が有する防風林という公益的機能と観光資源としての役割、国立公園の指定を受けていることも踏まえると、本事業の必要性はあると判断します。住民の安全を確保しつつ、環境保全、景観の維持に引き続き取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

空中散布の実施については、これまで安全面から実施の賛否が分かれるところである。本町においては国のマニュアルよりも一部厳しい基準を設ける等して安全面には十分配慮しているところである。しかし県内唯一の実施箇所となっており、継続の必要性があるのか、これまでの効果検証や他市町村の状況等も踏まえて検討することとしたい。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	森林病害虫等防除事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-11

5.年度別計画　令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
空中散布　59.92ha　5,225 千円	空中散布　59.92ha　5,225 千円	空中散布　59.92ha　5,225 千円	空中散布　59.92ha　5,225 千円	空中散布　59.92ha　5,225 千円
安全確認調査　30検体　767 千円	安全確認調査　30検体　767 千円	安全確認調査　30検体　767 千円	安全確認調査　30検体　767 千円	安全確認調査　30検体　767 千円
自然環境調査　1式　89 千円	自然環境調査　1式　89 千円	自然環境調査　1式　89 千円	自然環境調査　1式　89 千円	自然環境調査　1式　89 千円
空中散布付帯業務　1式　775 千円	空中散布付帯業務　1式　775 千円	空中散布付帯業務　1式　775 千円	空中散布付帯業務　1式　775 千円	空中散布付帯業務　1式　775 千円
衛生伐　330㎥　8,501 千円	衛生伐　600㎥　8,501 千円	衛生伐　600㎥　8,501 千円	衛生伐　600㎥　8,501 千円	衛生伐　600㎥　8,501 千円
樹幹注入　0本　千円	樹幹注入　129本　1,843 千円	樹幹注入　138本　2,536 千円	樹幹注入　162本　1,590 千円	樹幹注入　195本　896 千円
危険木調査　3個所　297 千円	危険木調査　3個所　297 千円	危険木調査　3個所　297 千円	危険木調査　3個所　297 千円	危険木調査　3個所　297 千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
事業費　15,654 千円	事業費　17,497 千円	事業費　18,190 千円	事業費　17,244 千円	事業費　16,550 千円
財源内訳　国補助　10,511 千円	財源内訳　国補助　11,612 千円	財源内訳　国補助　11,625 千円	財源内訳　国補助　11,703 千円	財源内訳　国補助　11,183 千円
県補助　千円	県補助　千円	県補助　千円	県補助　千円	県補助　千円
起　債　千円	起　債　千円	起　債　千円	起　債　千円	起　債　千円
特　定　千円	特　定　178 千円	特　定　499 千円	特　定　千円	特　定　千円
一般財源　5,143 千円	一般財源　5,707 千円	一般財源　6,066 千円	一般財源　5,541 千円	一般財源　5,367 千円
目標値　①　1,000本　④	目標値　①　1,000本　④	目標値　①　1,000本　④	目標値　①　1,000本　④	目標値　①　1,000本　④
②　⑤	②　⑤	②　⑤	②　⑤	②　⑤
③　⑥	③　⑥	③　⑥	③　⑥	③　⑥

事業内容

(Plan)

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	松くい虫危険木処理事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-12

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2. 島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町森林整備計画

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	危険木処理本数	200本/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

松くい虫被害による危険木は年々増加し、危険木倒壊による各施設への被害や住民生活に大きな影響を及ぼしている危険木を伐倒処理することにより、住民の安全確保に努める。

【事業概要】

住民の安全を脅かす松くい虫による枯松などの危険木について、伐倒処理を行う。民有林については受益者分担金（事業費の1/4）を徴収する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

危険木処理委託料 6,800千円
処理本数 54本

実績額		
		6,800 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	643 千円
	一般財源	6,157 千円

実績値				
	①	54本	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①. 事業の成果・進捗状況】

民家等へ危険を及ぼす松くい虫被害などによる危険木を伐倒処理し、住民の安全確保につなげた。

【②. 事業の課題】

高齢世帯の方が所有する土地の危険木伐採相談や、松くい虫被害木以外の危険木伐採についての相談も多くなってきている。

【③. 事業の必要性・今後の方向性】

住民の安全確保につなげるため、対象とする樹種や、個人負担率の見直しが必要である。

【④. 外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

松くい虫危険木処理の受益者の分担率の見直しを検討する。
併せて、松くい虫被害木以外の危険木の樹種や、個人負担率の見直し検討を行う。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	松くい虫危険木処理事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-12

5.年度別計画　令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)				
危険木処理業務委託料	危険木処理業務委託料	危険木処理業務委託料	危険木処理業務委託料	危険木処理業務委託料
4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
事業費 4,500 千円	事業費 4,500 千円	事業費 4,500 千円	事業費 4,500 千円	事業費 4,500 千円
財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円
県補助 千円	県補助 千円	県補助 千円	県補助 千円	県補助 千円
起　債 千円	起　債 千円	起　債 千円	起　債 千円	起　債 千円
特　定 200 千円	特　定 200 千円	特　定 200 千円	特　定 200 千円	特　定 200 千円
一般財源 4,300 千円	一般財源 4,300 千円	一般財源 4,300 千円	一般財源 4,300 千円	一般財源 4,300 千円
目標値 ① 200本/年 ④	目標値 ① 200本/年 ④	目標値 ① 200本/年 ④	目標値 ① 200本/年 ④	目標値 ① 200本/年 ④
② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤
③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	環境保全対策事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	4	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	環境教育・学習会の開催回数（KPI）	10回/年
②	環境保全ボランティア活動の実施回数（KPI）	30回/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

海岸清掃及び不法投棄の回収・撤去を行い、併せて特定外来生物の駆除等による自然保護活動に努めることで、隠岐の島町の豊かな自然環境を保全する。

【事業概要】

・地区住民やボランティア団体等で回収が困難な海岸を中心に、海岸漂着ごみの回収・処分を計画的に行う。
・不法投棄の状況把握及び防止を目的として、環境モニターが各地域のパトロールを行う。
・各地域ごとに清掃作業を行い、集めた草や汚泥等を隠岐の島町内事業所の協力により運搬を行う（春の一斉清掃）。
・町内で発見された不法投棄物の回収・撤去を行う。
・特定外来生物の駆除等の自然保護活動の実施。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

【海岸漂着物対策】
○海岸漂着ごみ回収処分業務
伊後地内及び長尾田地内
処分量：98.99㎥
・業務委託費　18,140千円
○海岸漂着ごみ収集運搬業務
五箇、中村地区他
処分量：270.86㎥
・業務委託費　2,680千円
【環境モニター】
○環境モニター謝金
207千円
・環境モニターパトロール回数
28回
【一斉清掃】
○春の一斉清掃作業業務等
660千円
【不法投棄撤去事業】
○道路沿い空き缶回収等業務委託料
122千円
○不法投棄回収処分業務
352千円

実績額		22,161 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	18,738 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	3,423 千円

実績値				
	①	12回/年	④	
	②	39回/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

海岸漂着ごみは、沿岸の地区住民・ボランティア団体等と協働でごみの回収、処分に取り組んでおり、人が行けない海岸については、業務委託により回収、処分を行っている。また、各地区の景観・環境保全を維持していく上で、環境モニター事業により現状を把握し、不法投棄物の撤去や、刈草の運搬については町内事業所と委託契約を交わして実施し、各地区の負担軽減につながっている。

や

地域の高齢化や人口減少により回収が困難な海岸において、漂着ごみが堆積・放置されている箇所がある。また、不法投棄の多い林道や特定の場所が存在するため本回収事業も重要ではあるが、同時に防止対策にも注力しなければ、不法投棄の減少が見込めない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

海岸漂着ごみについては本町の大きな問題となっているため、海岸漂着ごみ対策推進事業を拡充し、地域の負担軽減を図る。また、不法投棄についてもモニターと情報共有しながら重点的にパトロールを行うとともに、更なる防止対策や啓発活動を行う必要がある。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

各地域の海岸漂着ごみの回収について、運搬処分費や重機借上料を補助事業を活用し、軽減できるよう対応し、突発的な海岸漂着ごみは、漁港･港湾の管理機関等と協議し予算確保に努めながら柔軟に対応する。
また、新たなに高齢化による人手不足等への対応策として、町管理の漁港・港湾を年に１回事業者に委託して清掃を行い、地域の負担軽減を図る。

不法投棄は環境汚染につながり、町民の健康や暮らしに影響を及ぼす恐れがあることを我が事として考えて頂けるよう、積極的に環境ニュースを発行するなど周知啓発に努める。また、環境に影響を及ぼす不法投棄物については、計画的に回収・処分を行っていく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	環境保全対策事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-1

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容 (Plan)	海岸漂着ごみ回収処分業務 20,000 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務 700 千円 漁港・港湾漂着ごみ回収運搬業務 10,742 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 ジオ協働イベント事業 771 千円 環境モニター謝金 241 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 300 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 715 千円 大久地内不法投棄回収業務 1,023 千円 千円 千円 千円	海岸漂着ごみ回収処分業務 20,000 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務 700 千円 漁港・港湾漂着ごみ回収運搬業務 10,742 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 ジオ協働イベント事業 1,100 千円 環境モニター謝金 241 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 1,000 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 715 千円 千円 千円 千円	海岸漂着ごみ回収処分業務 20,000 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務 700 千円 漁港・港湾漂着ごみ回収運搬業務 10,742 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 ジオ協働イベント事業 1,100 千円 環境モニター謝金 241 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 1,000 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 715 千円 千円 千円 千円	海岸漂着ごみ回収処分業務 20,000 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務 700 千円 漁港・港湾漂着ごみ回収運搬業務 10,742 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 ジオ協働イベント事業 1,100 千円 環境モニター謝金 241 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 1,000 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 715 千円 千円 千円 千円	海岸漂着ごみ回収処分業務 20,000 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務 700 千円 漁港・港湾漂着ごみ回収運搬業務 10,742 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 ジオ協働イベント事業 1,100 千円 環境モニター謝金 241 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 1,000 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 715 千円 千円 千円 千円
事業費	35,014 千円	35,020 千円	35,020 千円	35,020 千円	35,020 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	28,697 千円	28,697 千円	28,697 千円	28,697 千円	28,697 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	6,317 千円	6,323 千円	6,323 千円	6,323 千円	6,323 千円
目標値 ①	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年
目標値 ②	30回/年	30回/年	30回/年	30回/年	30回/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	自然環境保全事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	4	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	環境教育・学習会の開催回数（KPI）	10回/年
②	環境保全ボランティア活動の実施回数（KPI）	30回/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

自然公園内における施設整備及び修繕を行い、大山隠岐国立公園及びユネスコ世界ジオパークに認定された町の豊かな自然環境の保全を図る。

【事業概要】

自然公園内において、環境保全・景観維持のため、適切な公園施設の管理を行うとともにトイレ改修、遊歩道及び付帯施設の修繕、歩道の危険木・不用木の除去を実施する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

【自然公園清掃活動等補助金】
○大満寺登山道整備補助金
　42千円

【自然公園施設等整備事業】
○ローソク島展望所及び西郷岬灯台展望所通景伐採業務
　・業務委託費　129千円
○都万野営場危険木伐採業務
　・業務委託費　93千円
○白島崎園地遊歩道除草業務
　・業務委託料　283千円

実績額		547 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	222 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	325 千円

実績値				
	①	12回/年	④	
	②	39回/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

自然環境整備計画（島根県）に基づき、町内老朽化施設の修繕を実施し、その他国立公園区域内における施設等については、島根県（自然環境課）と協議・検討のうえ、老朽箇所及び歩道内における危険木等の除去を実施した。特定外来生物の駆除については、啓発及び駆除活動を実施している。特にオオキンケイギクは令和５年の隠岐諸島における分布調査より過去調査と比較して生育面積が509.9㎡から139.1㎡へと大幅に減少していた。

【②.事業の課題】

国立公園区域内の自然公園施設において、老朽化または災害の影響により修繕等が必要となっている。
※自然公園施設：自然公園内に整備された施設（トイレ、遊歩道、東屋等）
特定外来生物（主にオオキンケイギク等）については、依然として町内各地への分布がみられるため、効果的な駆除の方策が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

大山隠岐国立公園及びユネスコ世界ジオパークに認定された町内の景勝地等は、観光資源としても重要であるため、町内関係各所及び島根県と協議・検討を重ね、自然公園施設の計画的な修繕及び再整備を行っていく。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和６年度評価済

　隠岐の自然は、大山隠岐国立公園指定、ユネスコ世界ジオパーク認定を受けた重要な観光資源でもあります。しかし、自然公園内においては、手入れが行き届かず不用木や雑草が伸び放題となり、景観に影響が生じている箇所もあります。美しい自然公園施設の維持のため、関係機関や地区とより一層の連携を図り環境整備事業を実施してください。また、障がい者支援施設との連携による取組も実施してはいかがでしょうか。
　島の美しく、かつ、貴重な自然及び景観等の保全のため、環境保全対策事業とともに、より効果的な整備事業を実施してください。

4.改善・見直し（Action）

随時、自然公園内の状況把握を行い、優先順位も含め、国立公園区域内にある既存施設の計画的な修繕・再整備を関係各所及び島根県と実施する。
また、特定外来生物駆除等につては、令和6年度からは環境保全対策事業へ移行することとし、事業概要としては、ジオ推進機構と協働イベント事業として、これまでの駆除活動に加え、情報発信の強化や交流事業など内容の充実を図りながら取り組んでいく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	自然環境保全事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-4

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 884 千円	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 884 千円	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 884 千円	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 884 千円	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 884 千円
事業費	926 千円	926 千円	926 千円	926 千円	926 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	926 千円	926 千円	926 千円	926 千円	926 千円
目標値 ①	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年
目標値 ②	30回/年	30回/年	30回/年	30回/年	30回/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ処理事務	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-6 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
①	一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
②	リサイクル率（廃棄物量に占める再資源化廃棄物の割合）（KPI）	6.5%
③	環境教育・学習会の開催回数（KPI）	10回/年
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

島根県内においても本町のごみ排出量は極めて多く、リサイクル率が低いという現状を改善するため、ごみの減量化・再資源化に寄与する取組みの推進を図る。また、大規模災害等による災害廃棄物の適正処理に努める。

【事業概要】

廃棄物減量等推進審議会の開催、一般廃棄物処理実施計画の策定、一般処理廃棄物基本計画の中間見直し、ごみの分け方出し方ガイドブック・分別収集カレンダーの配布など、ごみの排出抑制及び再資源化促進に向けた取組、啓発活動等を行う。ごみの減量化・再資源化のため、生ごみ処理機補助金交付事業を実施する。また、災害発生時の適確な廃棄物処理に向けた計画策定等も併せて実施する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

【拠点回収設備整備事業】

○五箇地区　布施地区（2基設置）

・業務委託料　3,168千円

【自動車リサイクル法離島支援事業】

・補助金額　4,745千円

・海上輸送予定台数　526台

・海上輸送実績台数　346台

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

ごみの排出抑制・再資源化推進を目的として、令和5年度より指定袋導入や自己搬入料金の改定などの制度改正を行い、ごみの分け方出し方ガイドブックの作成及び全戸配布、古紙回収に係る拠点回収設備整備等を実施した。環境学習の面では、施設見学や個別学習会を実施した。海上輸送費補助金事業では、自動車リサイクル要綱改正により円滑に事務を行うことができた。

【②.事業の課題】

制度改正後、町民の意識の変化により、本町のごみの排出量は減少しリサイクル率も向上したが、更なるごみの減量化、リサイクル率の向上を目指す必要がある。また、近年頻発する大規模災害による廃棄物について、仮置場選定・設営、周知方法など迅速かつ円滑な対応ができるよう実施計画を策定する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本町のごみ排出量削減、再資源化を推進するため、積極的な啓発活動や制度改正に沿った分別収集の徹底などを行っていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和５年度評価済**

今回の指定ごみ袋制への移行を契機に、ごみ問題への関心や意識の高まりが、すべての町民に定着されるよう努めていただきたいと思います。

また、これまで以上に啓発活動を行い、廃棄物削減、リサイクル率の向上に向けた、個々の意識づけをする必要があります。本年度から実施した拠点回収施設の設置や、ごみの分け方、出し方のガイドブックは効果を上げています。来年度以降に実施予定の生ごみ処理機導入補助金の効果にも期待しています。

4.改善・見直し（Action）

隠岐の島町ごみ減量化アクションプラン（令和3年3月策定）に基づき、ごみ減量化の推進に取り組む。引き続き、広報誌や出前講座等の学習会による、ごみの分け方・出し方の周知啓発活動の実施に加え、資源の再利用を推進するため、拠点回収設備の計画的な整備、生ごみ処理機導入補助金交付事業を実施する。

また、令和6年度は第2次隠岐の島町一般処理廃棄物処理基本計画(平成31年4月策定)の中間見直しが必要となるためこれまでの状況を整理し、今後の廃棄物処理施策の方向性を定める。

大規模災害等への備えとして、災害廃棄物処理計画（令和3年3月策定）を策定しているが、より迅速かつ円滑な対応が可能となるよう災害廃棄物処理実行計画の策定等、事前準備を進めていく。

実績額		7,913 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	4,745 千円
	一般財源	3,168 千円

実績値				
	①	769g/人日	④	
	②	9.1%	⑤	
	③	12回/年	⑥	

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ処理事務	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-6 （重複）

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容	拠点回収設備整備　1箇所	拠点回収設備整備　1箇所			
	1,881 千円	1,881 千円	千円	千円	千円
	使用済自動車等海上輸送費補助金	使用済自動車等海上輸送費補助金	使用済自動車等海上輸送費補助金	使用済自動車等海上輸送費補助金	使用済自動車等海上輸送費補助金
	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円
	（新）生ごみ処理機導入補助金	生ごみ処理機導入補助金	生ごみ処理機導入補助金	生ごみ処理機導入補助金	生ごみ処理機導入補助金
	1,175 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
(Plan)	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	10,122 千円	9,947 千円	8,066 千円	8,066 千円	8,066 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円	7,066 千円
財源内訳 一般財源	3,056 千円	2,881 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
目標値 ①	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日
目標値 ②	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%
目標値 ③	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					